

洗足木曜日の礼拝

頌栄教会

本日は、洗足木曜日（聖木曜日）、「主の晩餐の夕べ」です。

キリストが十二人の弟子たち共にされた最後の晩餐に心向けましょう。
夕食後、または一日の終わりにこの礼拝を捧げることをお勧めします。
この夕べから「聖なる三日間」がはじまります。

神の招き

共に集う 心と体を礼拝に備えましょう。祈りのうちに共に集います。

招 詞 <ヨハネ 13 : 34>

あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

招きへの応答 キリストの御名によって集められた恵みを感じましょう。
神の民として一つとなり、
わたしたちを招き迎え入れてくださった神に感謝を捧げましょう。

悔い改め 沈黙のうちに、自らを省み、悔い改めのときをもちましょう。

憐れみ深い天の父、
わたしたちは、あなたへの忠実さを欠き、罪の生活を送ってきたことを認めます。
わたしたちは、十字架上の主イエス・キリストの尊い血のみが赦しを与えることを、
信じ、告白します。

わたしたちは、
思いと言葉と行いによって、あなたと隣り人に対して罪を犯しました。
怠り、絶望、権力を求める心によって、
社会に憎しみと分裂と痛みを引き起こしてきました。
貧欲と偽りと無関心によって、
無用の争いをもたらし、破壊の力を増し加えてきました。
利己的で、思いやりを欠き、偏見を持った心によって、
わたしたちの愛する人々と家族に、傷、痛み、悲しみを与えてきました。
愛の教えによって、そして神の名によってすら、
信仰を探し求める人々を、傷つけてきました。
かたくなさ、高慢さ、傲慢さによって、
神の教会の中に、また神の子どもたちの間に分裂と争いを引き起こしてきました。

これらの罪を、わたしたちは今、悔い改めます。
憐れみによって、聖なる霊を送ってください。
すべての不義からわたしたちを清め、
真理と平和と自由をもたらすキリストへのまことの信仰を
わたしたちの中に回復してください。
そしてわたしたちの主イエス・キリストの平和のうちに、
御名の栄光のために兄弟姉妹と共に歩むことができるよう、助けをお与えください。
主イエス・キリストの御名によって。アーメン

神の言葉

聖書朗読

旧約聖書

エレミヤ 31 : 31-34

³¹ 見よ、わたしがイスラエルの家、ユダの家と新しい契約を結ぶ日が来る、と主は言われる。³² この契約は、かつてわたしが彼らの先祖の手を取ってエジプトの地から導き出したときに結んだものではない。わたしが彼らの主人であったにもかかわらず、彼らはこの契約を破った、と主は言われる。³³ しかし、来るべき日に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこれである、と主は言われる。すなわち、わたしの律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心にそれを記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。³⁴ そのとき、人々は隣人どうし、兄弟どうし、「主を知れ」と言って教えることはない。彼らはすべて、小さい者も大きい者もわたしを知るからである、と主は言われる。わたしは彼らの悪を赦し、再び彼らの罪に心を留めることはない。

詩編

詩編 40 : 13-18

¹³ 悪はわたしにからみつき、数えきれません。

わたしは自分の罪に捕えられ

何も見えなくなりました。

その数は髪の毛よりも多く

わたしは心挫けています。

¹⁴ 主よ、走り寄ってわたしを救ってください。

主よ、急いでわたしを助けてください。

¹⁵ わたしの命を奪おうとねらっている者が

恥を受け、嘲られ

わたしを災いに遭わせようと望む者が

侮られて退き

¹⁶ わたしに向かってはやし立てる者が

恥を受けて破滅しますように。

¹⁷ あなたを尋ね求める人が

あなたによって喜び祝い、楽しみ

御救いを愛する人が

主をあがめよといつも歌いますように。

¹⁸ 主よ、わたしは貧しく身を屈めています。

わたしのためにお計らいください。

あなたはわたしの助け、わたしの逃げ場。

わたしの神よ、速やかに来てください。

使徒書

コリントの信徒への手紙一 11：23-29

²³わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、²⁴感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。²⁵また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。²⁶だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。

²⁷従って、ふさわしくないままで主のパンを食べたり、その杯を飲んだりする者は、主の体と血に対して罪を犯すこととなります。²⁸だれでも、自分をよく確かめたうえで、そのパンを食べ、その杯から飲むべきです。²⁹主の体のことをわきまえずに飲み食いする者は、自分自身に対する裁きを飲み食いしているのです。

福音書

ヨハネによる福音書 13：1-15

¹さて、過越祭の前のことである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。²夕食のときであった。既に悪魔は、イスカリオテのシモンの子ユダに、イエスを裏切る考えを抱かせていた。³イエスは、父がすべてを御自分の手にゆだねられたこと、また、御自分が神のもとから来て、神のもとに帰ろうとしていることを悟り、⁴食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。⁵それから、たらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた。⁶シモン・ペトロのところに来ると、ペトロは、「主よ、あなたがわたしの足を洗ってくださるのですか」と言った。⁷イエスは答えて、「わたしのしていることは、今あなたには分かるまいが、後で、分かるようになる」と言われた。⁸ペトロが、「わたしの足など、決して洗わないでください」と言うと、イエスは、「もしわたしがあなたを洗わないなら、あなたはわたしと何のかかわりもないことになる」と答えられた。⁹そこでシモン・ペトロが言った。「主よ、足だけでなく、手も頭も。」¹⁰イエスは言われた。「既に体を洗った者は、全身清いのであるから、足だけ洗えばよい。あなたがたは清いのだが、皆が清いわけではない。」¹¹イエスは、御自分を裏切ろうとしている者がだれであるかを知っておられた。それで、「皆が清いわけではない」と言われたのである。

¹²さて、イエスは、弟子たちの足を洗ってしまうと、上着を着て、再び席に着いて言われた。「わたしがあなたがたにしたことが分かるか。¹³あなたがたは、わたしを『先生』とか『主』とか呼ぶ。そのように言うのは正しい。わたしはそうである。¹⁴ところで、主であり、師であるわたしがあなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合わなければならない。¹⁵わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、模範を示したのである。

御言葉の照らし

🕯️ 愛のまなざし

- ・ 今日までの人生において、誰かに愛し抜かれた体験はありましたか。
わたしの罪、過ち、弱さ、汚さ、それらすべてを知っていて、
そのわたしを赦し受け入れ、愛を示してくれた存在を感じてみましょう。
- ・ 自らが不当な仕打ちや大きな苦しみを引き受けてでも、誰かを愛し抜いたことはありますか。
- ・ 親しい人からの裏切りを体験したことはありますか。
そのとき、わたしは何を選択したのでしょうか。振り返ってみましょう。
- ・ この世の生を終えようとしている人のまなざし、姿と出会ったことはありますか。
- ・ もしわたし自身が明日この世を去ることがわかっているとしたら、
周囲の人（特に関わりに困難を覚える人）にどのようなまなざしを向けるのでしょうか。

🕯️ 洗足

キリストの姿を思い描きながら御言葉を体験しましょう。

食事の最中に突然立ち上がるイエスの姿。
水を汲み、わたしの前にひざまずくイエス。そのイエスのまなざし。
イエスの目には何が映っているのでしょうか。
わたしの目には何が映っているのでしょうか。

水の冷たさ、水がわたしの足を滴る感覚、音。
イエスの手がわたしの足に触れる感覚。手ぬぐいで、丁寧に足を拭かれる感覚。

- ・ わたしにとって、『足』とは何を意味するのでしょうか。
そこだけは触れないでほしい、それだけは見ないでほしい、
それだけは忘れたい、できるならばなかったことにしたい、
わたしの中にあるそのような出来事や思いを今、静かに見つめてみましょう。
- ・ その『足』を洗ってもらうとは、どういうことなのでしょうか。
わたしの『足』を洗われるイエスの姿と、
イエスがわたしに触れる感覚をもう一度、祈りのうちに味わいましょう。

🕯️ 赦し合うことへの招き

わたしのすべてを知ったうえで、わたしを愛と赦しで包み、
共にいてくださるキリストの存在を感じましょう。
次に、キリストが他の人の足を洗っておられるところを思い描きましょう。

- ・ 『互いに足を洗う』とは、何を意味するのでしょうか。
- ・ 足を洗い合う交わりを築くために、
神はわたしにどのような心と姿を望んでおられるのでしょうか。

沈黙 御言葉による神との交わりに感謝し、沈黙のうちに祈りましょう。

特に、わたしたちの足を洗ってくださったイエスに従うことの恵みを求め、

- ・ へりくだりの心が与えられるように
- ・ 互いに愛し合い赦し合う交わりを生きることができるように
- ・ キリストにあって一致に導かれるように
- ・ 聖なる三日間を御心のうちに過ごせるように

祈りましょう。

感謝の応答

使徒信条

われ てんち つくぬし ぜんとう ちち かみ しん
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われ
我はそのひとり子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
しゅ せいれい
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみをうけ、十字架につけられ、死にて葬られ、
陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、
てん のぼ ぜんとう ちち かみ みざ ざ
天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
われ せいれい しん ぜい こうどう きょうかい せいと まじ つみ ゆる
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、
からだ
身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。 アーメン。

執り成しの祈り

執り成しの祈りとは、『他者のために捧げる』祈りのことです。
以下の五つの課題について自分の言葉で執り成しの祈りを捧げましょう。

- ①全世界の教会・キリスト者のため
- ②すべての人々のため（世界の国々の正義と平和のため）
- ③頌栄教会と、教会の置かれた地域のため、
また、それぞれが住んでいる地域のため
- ④苦難の中にいる人々のため（具体的に思いを巡らして）
- ⑤復活祭に洗礼を受ける人々のため

主の祈り

てん
天にましますわれのちち、
ねが
願わくは御名をあげさせたまえ。
くに
み国を来たらせたまえ。
みごころ てん
御心の天になるごとく、ち
地にもなさせたまえ。
われ にちよう かにて きょう なた
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。
われ つみ おか われ ゆる われ つみ ゆる
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
われ こころ
我らを試みにあわせず、あくよりすくいだ
悪より救い出したまえ。
くに ちから さかえ かぎ なんじ
国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。 アーメン。

派遣

感謝の祈り キリストの御名によって集められ、神の民としていただいた恵みに感謝しましょう。
歌うことのできる方は声に出して賛美しましょう。

♪ 頌栄 541 「父 み子 御霊の大御神に ときわに絶えせず み栄えあれ アーメン」

祝 福 沈黙をもって、心のうちに神からの祝福の言葉を聴きましょう。

へいわ
平和のうちに、この世へと出て行きなさい。
しゅ かみ つか りんじん あい しゅ かみ あい りんじん つか
主なる神に仕え、隣人を愛し、主なる神を愛し、隣人に仕えなさい。
しゅ めぐ かみ あい せいれい まじ
主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、
あなたがたいちどう とも
あなたがた一同と共にあるように。アーメン。

派 遣 朗読しましょう。

福音書

マタイによる福音書 26 : 36-46

³⁶ それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという所に来て、「わたしが向こうへ行って祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。³⁷ ペトロおよびゼベダイの子二人を伴われたが、そのとき、悲しみもだえ始められた。³⁸ そして、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしと共に目を覚ましていなさい。」³⁹ 少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」
⁴⁰ それから、弟子たちのところへ戻って御覧になると、彼らは眠っていたので、ペトロに言われた。「あなたがたはこのように、わずか一時もわたしと共に目を覚ましていられなかったのか。⁴¹ 誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」
⁴² 更に、二度目に向こうへ行って祈られた。「父よ、わたしが飲まないかぎりこの杯が過ぎ去らないのでしたら、あなたの御心が行われますように。」⁴³ 再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた。ひどく眠かったのである。⁴⁴ そこで、彼らを離れ、また向こうへ行って、三度目も同じ言葉で祈られた。⁴⁵ それから、弟子たちのところに戻って来て言われた。「あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。時が近づいた。人の子は罪人たちの手に引き渡される。⁴⁶ 立て、行こう。見よ、わたしを裏切る者が来た。」

沈 黙 目を覚まして、キリストと共に十字架に向かう歩みへ出て行きましょう。